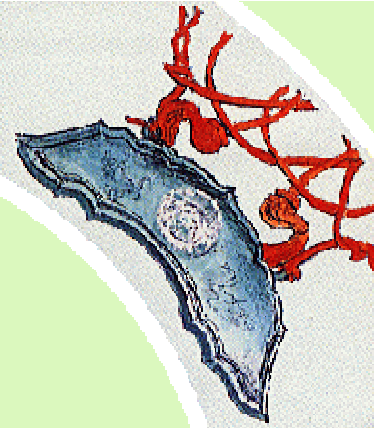


2010-11年度  
RIテーマ  
「地域を育み、  
大陸をつなぐ」



# 週報宇佐



孔雀文馨



RI会長  
レイ・クリングスミス



第2720地区ガバナー  
木下 光 一



宇佐ロータリークラブ会長  
津々良 洋 一



陵王面

- 例会日 木曜日 PM12:30
- 例会場 宇佐市沖須町 1-19  
トキハインダストリー長洲店 2F  
TEL (0978) 38-1112

会 長 津々良 洋 一  
幹 事 幡 手 一 義  
編 集 本 庄 伸 子

## 8月は会員増強および拡大月間

### \*本日のプログラム\* (8月26日)

1. 会長の時間
2. 幹事報告
3. 委員会報告
4. スマイルカード
5. 内部卓話 河村正一会員
6. 出席報告

### \*8月の行事予定\*

- 5日 内部卓話 藤本博和会員
- 12日 休会 定款第4条第1節3項による
- 19日 外部卓話 柳ヶ浦高校インターアクト生  
「インターアクト年次大会報告」
- 26日 内部卓話 河村正一会員

## 第2121回例会 平成22年 8月19日 の記録

- 🕒 点 鐘
- 🎵 ソ ン グ 四つのテスト
- 👤 ゲ ス ト 柳ヶ浦高等学校インターアクトクラブ
- 👤 ビジター なし

### 会長の時間 津々良洋一会長

皆さんこんにちは。お久しぶりでございます。  
お盆休暇で先週は例会が休みでしたので、2週間ぶりの例会となります。

そんな中、RIより嬉しい知らせが入りました。2012～2013年度RI会長にRI指名委員会により、日本人として3人目となるRIの会長に選出がなされました。待望の日本からの会長です。

選出されたのは埼玉県、八潮（やしお）ロータリー・クラブ会員の田中作次氏で、1人目は

1968年に東ヶ崎(トガサキ)潔会長で、2人目は1982年我地区である中津ロータリークラブから輩出された向笠公次会長に次ぐ日本からの3人目RI会長となります。まだ決定ではありませんが、対抗候補者がいない限り、同氏は10月1日に会長ノミニーとなります。一人目の東ヶ崎(トガサキ)会長は、日本人ではありますが、アメリカで生まれ育った方だと聞いておりますので、純粋な日本人としては、向笠会長に次ぐものとされております。

## USA-OITA 第2720地区 宇佐ロータリークラブ

事務局 〒872-0032 大分県宇佐市大字江須賀2999番地の2 株式会社ユニックス内  
TEL. FAX : 0978-38-2370 <http://www.usa-rotary.com/>

略歴を簡単に紹介いたします。代表取締役を32年間務めた家庭紙卸売業の株式会社タナカは、1995年に株式公開した後、日用品雑貨卸売販売業者の株式会社ダイカと合併しており、現在、八潮市商工会の副会長である同氏は、その後、商圈を全国展開するために再度合併した株式会社あらたの相談役を務めています。また、ビジネス経営を専門に学び、全国家庭紙同業会連合会の会長任務を8年間務められました。ロータリーに関しましては、ロータリー財団管理委員として、2009年バーミンガム国際大会委員会の委員長を務められました。その他の任務として、RI理事、ロータリー財団地域コーディネーター、地区ガバナーとして活躍されたほか、ポリオ撲滅提唱グループ、恒久基金委員会、未来の夢委員会の委員を務められました。

ロータリー平和フェロシップ基金を設立した田中氏は、京子夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、恒久基金ベネファクター、大口寄付者となっています。受賞経歴として、同氏は超我の奉仕賞、ロータリー財団の特別功労賞を受賞されました。

ポリオを撲滅することは「私たちが世界の子どもたちへの約束を果たすこと」であると田中氏は言い、「近い将来に撲滅が成功を遂げることは間違いない」と述べます。

田中氏と京子夫人には、3人のお子さんと5人のお孫さんがいます。

ロータリーが「地域を発展させる原動力として、活気のある活動を続けていく」姿を見届けていきたい、そのような活動を展開していくためにも、積極的で、活動に夢中になれるクラブをロータリーは必要とすると同氏は付け加えます。

略歴を要約しますと、八潮RCの創立会員であること、元RI理事、日本ただ一人のRI財団管理委員（当時）であること、日本で二人目のアーチクラブ・ソサエティの会員であること、平和フェローの冠名寄付者であること、ちなみにアーチクラブ・ソサエティの会員は現金の寄付累計が25万ドルをこえるとメンバーになり、メンバーの写真が世界本部内のアーチク

ランフギャラリーに飾られます。平和フェローに6万ドルを寄付すれば一人の平和フェローを派遣でき、寄付者の氏名を冠して例えば田中作次世界フェローとよびます。田中氏は当時で6名のフェローを派遣させておられます。

このように財団での氏の貢献度は金銭的、時間的にもずば抜けたものであるようです。

<b>幹事報告</b>	<b>幡手一義幹事</b>
-------------	---------------

## 1. 来信

- 1)ガバナー事務所より「ロータリー財団セミナー開催のご案内」；9/18(土)13:00～16:30、大分文化会館 第1小ホール
- 2)ガバナー事務所より「2010-11年度 RI 超我の奉仕賞の推薦について」；推薦あれば8/27まで
- 3)ガバナー事務所より「2012-13年度 RI 会長について」；埼玉県八潮RC 田中作次氏が指名されました。
- 4)別府中央RCより「例会場変更のお知らせ」；10/5より「ホテルニューツルタ」に変更
- 5)RIより「2010-11年度 RI カタログ」
- 6)米山梅吉記念館より「館報 2010年秋号」
- 7)宇佐市より「フラワーロードの花壇管理について（お願い）」

## 2. 例会変更

**日出RC**：8/24(火)の例会は、8/28(土)18:30～「別府花菱ホテル」に変更；夏バテ防止食事例会の為

**別府東RC**：8/26(木)の例会は、同日18:30～「別府ホテル清風・ビアガーデン」に変更；夕涼み・ビアガーデン例会の為

## 3. 週報受理

中津平成RC、大分キャピタルRC、竹田RC  
津久見RC

## 4. 理事会報告

なし

## 5. お知らせ

- 1)今月の定例理事会は次週の例会終了後に開催致します。

2)出欠の回覧を致します。

①登山同好会 ②ワイン同好会

## 6. 欠席連絡

砂山正則会員、住本憲彦会員、長浦善徳会員  
藤本博和会員、松永忠昭会員、山上明宣会員  
米澤哲也会員、和田久継会員

## 7. 本日の当番

幡手一義会員、廣瀬辰彦会員

## 委員会報告

### ◎ワイン愛好会 本庄伸子会員

<第1回例会のご案内>

- 日時：9月7日(火) 19:00～
- 場所：翔山
- 講師：内野隆之ソムリエ
- 会費：参加人数で割り勘

## スマイルカード 藤本博和委員長

津々良洋一会長：①父の初盆では皆様大変お世話になりました。 ②柳ヶ浦高校インターアクトの皆様例会へようこそいらっしゃいました。本日は宜しくお願ひ致します。

高橋和治会員：初盆のお参りありがとうございました。

藤林鋭司会員：柳ヶ浦高校インターアクト生の皆様ようこそいらっしゃいました。

妻の母の初盆会にお参り下さいました方々誠にありがとうございました。

出口幸太郎会員：初盆参りの時は石部先生お世話になりました。

是永潤一会員：インターアクト年次大会の報告よろしくお願ひします。

本庄伸子会員：フラワーロードと桜並木の整備の様子をホームページにu p していますので見て下さい。

末宗為十会員：職業奉仕の為早退させて頂きませう。

☺ニコニコ累計 122,000円

## 外部卓話

### 「インターアクト年次大会に参加して」

柳ヶ浦高等学校インターアクトクラブ



### ■顧問 尾垣信江先生

日ごろより、本校インターアクトクラブの活動につきまして、物心両面の援助をいただき、ありがとうございます。

今年も部員5名を引率して、年次大会に参加してまいりました。今年のテーマは「絆～子供たちの笑顔のために～」ということで、ホスト校の福德学院高等学校、大分南ロータリークラブの方々の主催により、盛大に開催されました。携帯がほとんどつながらない場所であることや、自然保護のために自分たちの考え方を換え、少し不便な生活をするのは、生徒たちにとっては驚きの連続だったようですが、特に混乱もなく、全日程を終えることができました。

否が応でも協力しあわなければ達成しないプログラムが、活動の中に準備され、生徒たちは知らず知らずのうちに協力しあい、交流を深めていったように思います。いつもは人と交流することが少し苦手な生徒も、苦手意識を持つ暇もなく、活動できていました。特に夜のレポート作成はテーマが難しくかなり苦慮したようですが、班ごとに努力の跡が見え、達成したという満足感が生徒たちに芽生えたのではないかと思います。

今回の年次大会では、例年よりも自分たちで考え、実行するプログラムがたくさん用意されていたように思います。このような機会をいただき、ありがとうございました。今後とも柳ヶ浦高等学校インターアクトクラブをよろしくお願ひいたします。

## ■岩丸侑奈さん

私は今回初めてインターアクト年次大会に参加しました。なので、どんな活動があるのか全く予想が付きませんでした。

まず、開会式が行われ、そのあと自分たちの部屋へ行きました。部屋割りはいろいろな人と交流をするために、同じ学校の人とは一緒にならないように組まれていたので、同じ班だと言うのに、私は一言も声をかけることができませんでした。

次にレクリエーションでオリエンテーリングを行いました。また部屋ごとの班行動で協力しないとオリエンテーリングができないので、班長だった私は、最初「どこの高校？」から話しかけ、協力しあえるような雰囲気を作ろうと努力しました。するとオリエンテーリングが終わるころには、自分の学校のことや方言の違いなどを話したりして、とても楽しく話せるようになっていきました。

夕食と入浴がすんだ後、課題のレポート作成をしました。資料を参考にして考えましたが、内容が結構難しくてなかなか出来上がりませんでした。でも3人で協力して完成することができました。

2日目は全体会でレポート発表や活動報告が行われました。2日目の活動で一番心に残っているのは、大分高校の書道部のパフォーマンスです。初めて見たので、大きな紙や筆にびっくりしましたが、更に音楽に合わせて躍動感あふれるパフォーマンスにとっても感動しました。

今年次大会に参加して、違う高校の人たちと交流し協力できたことは、私の財産になったと思います。このような機会を与えてくださったロータリーの皆様、ありがとうございました。

## ■廣崎優衣さん

年次大会に参加させていただいたのですが、部屋割りが知らない人ばかりで、同じ学校の人が一人も居なくて正直どうしようという気持ちが大きかったのですが、開会式の時の言葉で「やらされている、来たくはなかったけど来ら

された方、そんな気持ちで取り組むものではありません。しよう、学びたいという気持ちを持って参加してほしい」というのを聞き、来たなら何かを学んで無駄にならないような一泊二日にしたいと思うことができました。

開会式の後のオリエンテーリングでは、一時間ほど同じ班で歩く中、班の人と同じ部活、看護学生という接点があり、すぐに打ち解けることができました。熊本と大分で話し方のトーンの違い、方言の違いや習慣の違いも色々を知ることができ、すごく楽しくよい経験になりました。

講演では、笑いありの語り方ですなりと心に入ってきて、言葉の一つ一つの大切さ、心をこめることの大切さを学ぶことができました。

世界中の子どもたちについては、頂いた資料をもとに色々と考えさせられることばかりでした。こんな機会がなければあまり考えることをしていない私には、あまりにも衝撃的な内容で、私たちに何ができるか、何か役に立てるような活動はないかと考えるきっかけになりました。

閉会式では、あんなに近くで大分高校の書道パフォーマンスを見ることができ、力強い筆使いやかけ声に圧倒されました。

一泊二日という短い時間で学んだり、体験したことは、大変内容の濃いものばかりでした。

今回学んだことや、人とのふれ合いを忘れず、また生かしながらこれからもインターアクト部員として、一人の人間として取り組んでいこうと思いました。

このような機会を与えていただき、ありがとうございました。

## ■杉本 舞さん

今回初めてインターアクト年次大会に参加したのですが、他校の生徒と交流が出来て有意義な2日間でした。始めは他校の生徒と交流が出来るか不安でしたが、レクリエーションの時にウォークラリーをしたのですが、途中でクイズがあり、その時に同室の生徒と考えたり話したりすることで仲良くなることが出来ました。

夜は他校の人と星を見ました。星はとてもきれいでその日の疲れを忘れる事ができました。普段星が見えるところに住んでいるのに、ゆっくり星を見ることがないのでとても新鮮でした。寝る前は同室の人と学校の事などを話したりして、仲良くなる事が出来て良かったです。

また、私たちが利用した少年自然の家「おじか」では、私たち人間が大自然からいろいろなものを使わせてもらっているという考え方で生活した。不便な面はありましたが、少し我慢をすることで、自然と共存できるということを体験しました。

2日間という短い間でしたが、有意義な体験をし、たくさんの思い出を作ることができました。このような機会を与えてくださった、ロータリーの方々に感謝いたします。ありがとうございました。

#### ■河野茉莉さん

今回、インターアクト年次大会に参加し、1泊2日という短い時間でしたが、他校の生徒と交流をしたり、講演を聴いたり普段なかなか経験できない活動をする事ができました。

レクリエーションでは、ウォークラリーをしたのですが、指令の中に協力しなければできないしかが隠されていて、知らず知らずのうちに同室の生徒と、仲良くなる事が出来ました。

それから、矢野大和さんとおっしゃる元佐伯市の観光大使の方の講演を聞いたのですが、「しなくてはいけない努力と、しなくてもいい努力がある」ということをおっしゃっていました。しなくてもいい努力は、自分がどう頑張っても、変えられないけど、しなくてはならない努力は、自分が努力する事で、結果がでるというのです。私は今まで、しなくてもいい努力について、考えすぎていて、しなくてはならない努力を、あまりしていなかった気がします。

これから、たくさん努力しないといけないことがあると思います。その時、この言葉を思い出したいと思います。

1泊2日の活動で、不便なことも多かったし、

辛いことも正直ありましたが、たくさんの気づきや学びがありました。今回参加する機会を与えてくださったロータリーのみなさん、ありがとうございました。

#### ■亀田梨奈さん

年次大会に参加して、たくさんの人と交流することができました。

最初は会場に行く車に酔ったり、部屋がわからず迷いそうになったりして大変だったのですが、自分から自己紹介したり、次の予定を教え合ったりして、すぐに仲良くなる事ができました。

開会式すぐ後のウォークラリーでは、山の中を部屋の皆と話ながら歩いたり問題を解いたりするのはとても楽しかったです。看板を見落としたりもしましたが無事に戻ることが出来ました。でも山を歩いて一つだけ心残りなのは、素晴らしい景色を写真に撮れなかったことです。山の中は日があたらず涼しくて、良い所だったので、本当に残念でした。

普段の生活のようにお風呂に入るのにも十分な水を使うことができず、時間がなかったため急いで入りました。かなり不便な思いもしましたが、仲良くなった子が手伝ってくれたりもして、何とか乗り切ることができました。

閉会式では大分高校書道部のパフォーマンスを見ることができ、同じ高校生とは思えないほどの迫力で、楽しむと同時に感動しました。

今年年次大会に参加させていただいて、ありがとうございました。このような機会を与えてくださったロータリーの皆様に感謝いたします。

#### ■津々良洋一会長

8月7日(土)8日(日)と毎年この時期にあります、インターアクト年次大会に柳ヶ浦高校インターアクト生5名と顧問の尾垣先生、そして米澤新世代委員長、末宗副会長、幡手幹事私と出席して参りました。

といっても我々ロータリーアンは送迎をしただけで、初日の開会式を終えてから一旦帰り、

次の日に終了時刻に迎えに行っただけです。

場所は今回ガバナーが大分からの輩出なので、大分側開催ということで、別府の市営少年自然の家おじかでありました。

ゴルフをやられる方は、別府の森GC（以前の別府日東GC）に行かれる際、りんご園を右に曲がらず左に曲がって少しの所にあります。某方にとっては、ここまで来てゴルフをしないのは、寂しい思いをしたのではないかと思います。

おじかはおじか山の裾野にある自然環境に恵まれた施設で、逆に言えば自然以外何もないといった所のように感じました。このような場所での、年次大会の開催であり、最初に入所式そして終わりに出所式が行われ、年次大会はインターアクトのお祭りであるとの私の認識からすると、外見、参加者が拘束されたイメージがあり、実際はどうであったのか少し感想を聞きたいと思います。ただ、ふだんここまで自然に触れる機会はないと思いますので、そういった面では良かったのかなとも思います。初日は、12時からの開会式で、その前の食事ということで別府町中で探していましたが、11時からしか開いていず、それからの食事そして会場への移動をしていましたら、12時ぎりぎり、多



分登録が最後になったのだと思いますが、着席していましたが、アナウンスでこられているか呼ばれまして、びっくりいたしました。もう少し配慮のある開始時間は出来なかったのかとぼやかさせていただきました。

翌日は12時閉会で、そのあと米澤観光園にて地鶏バーバーキュにて食事をし、解散いたしました。インターアクトの皆様大変お疲れ様でした。

## 出席報告 出口幸太郎委員長

第2121回（8月19日）

会員総数	28名
（内出席免除）	0名
-----	-----
出席数	25名
（内事前 MU）	7名
-----	-----
欠席数	3名
-----	-----
出席率	<b>89.29%</b>

### 回事前メイクアップ

砂山正則会員、住本憲彦会員、長浦善徳会員  
中村明美会員、藤本博和会員、米澤哲也会員  
和田久継会員（以上7名 社会奉仕活動）

### 回事後メイクアップ

小野田義文会員、松永忠昭会員、山上明宣会員

### ※出席率の更正

◎8月5日の出席率は1名のメイクアップにより85.71%→**89.29%**に更正

### 回事後メイクアップ

廣瀬辰彦会員（宇佐八幡RC）

